

社会資本整備総合交付金 目標達成型パッケージの事後評価提出様式

平成28年 8月31日

対象事業	美里町における歩行者等の安全性を確保する社会資本整備(防災・安全交付金)	対象地域	美里町(宮城県)			
対象事業の期間	平成22年度~平成26年度(5年間)	対象事業No.	8			
対象事業の目的	美里町の円滑な交通と安全で住みよい住環境空間創造するための社会資本整備を行う。					
対象事業の効果	小牛田駅周辺の町道を整備することにより公共施設へのアクセスする道路の安全性と利便性の向上を図る。				B/C	
対象事業の成果目標 (アウトカム指標)	通勤・通学者の安全歩行空間整備率					
アウトカム指標の 定義及び算定式	美里町の歩行空間確保計画延長に対する確保済み延長 安全歩行空間の確保率 = (整備した延長 / 美里町歩行空間計画延長 × 100)		アウトカム 指標の現況値 及び目標値	当初現況値	中間目標値	長期目標値
				29.0%	54.0%	73.0%

事後評価





1. 要素事業の進捗状況

事業費	H22	115	百万円
	H23	112	百万円
	H24	95	百万円
	H25	76	百万円
	H26	95	百万円
進捗状況			
整備した延長 美里町歩行空間計画延長 13,329 m ÷ 13,989 m × 100 = 95.3 %			
進捗状況に関する要因分析			
本町の総合計画(H19.4~H28.3)に基づき、実施計画の中で町全体の事業バランスを考慮し、本事業への財政負担可能額の調整及び工事施工に伴う地域住民への周知、調整等に要する期間の検討を行い実施可能施工量を考慮したうえで、総合的に判断して実施したところ現在の進捗状況となった。			

2. 事業効果の発現状況

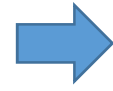
成果目標に関連する要素事業の効果の発現状況	整備を行った箇所(L=13,329m)については、整備前にはなかった歩行空間が確保され、車両と歩行者及び自転車のすれ違い時の通行の安全性が向上し、交通通事故防止に寄与している。			B/C
成果目標の達成状況	q	73.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成
	長期実績値(H26末実績)	95.3%		
成果目標以外の要素事業の効果の発現状況				

3. 特記事項

<p><b>整備前</b></p> <p>駅前梅ノ木線 外12路線</p> 	<p><b>整備後</b></p> 
<p><b>整備前</b></p> <p>小牛田駅北口線 外16路線</p> 	<p><b>整備後</b></p> 



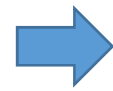
**整備前**  
山の神変電所線  
外12路線



**整備後**



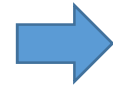
**整備前**  
西館叔廻前線  
外6路線



**整備後**



**整備前**  
赤井木間塚線



**整備後**



**整備前**  
石巻街道線



**整備後**



**整備前**  
新一本柳沖勘堂線



**整備後**

